

建設現場に官民合同パトロールを実施

平成30年2月22日、宮古労働基準監督署では年末年始無災害運動の取組みとして、建設業労働災害防止協会沖縄県支部宮古分会とともに「平成29年度第三回官民合同パトロール」を実施しました。

建設会館玄関前にて行われた出発式では、宮古労働基準監督署長、建災防宮古分会長の挨拶が行われ、今回のパトロールのテーマである、

安全第一 墜落災害の絶滅

を指差呼称しました。

その後、2班に分かれ、宮古島市内の計5現場をパトロールしました。

パトロール員からは、

- ・ 足場の墜落防止設備を適切に設置すること
- ・ 現場の看板は適切に表示すること

等の指摘がなされ、現場責任者に対して改善を求めました。

また、パトロール後の講評会では、各班で撮影した現場の写真を基に指摘箇所等の情報を共有しました。講評会では他にも、

- ・ 他現場の事故を自身なりに詳細に分析し、現場での災害防止活動の参考にしている現場所長がいた
- ・ 元請の指示で鉄筋頭頂部にキャップが着けられ、刺傷災害防止を図っていた等の好事例が報告され、それぞれの現場でも参考にすることとしました。



参加者全員で指差呼称